

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



平成 29 年 10 月 25 日 校長 木下 剛

【H. 29 学校経営の重点】

『明日(未来)へつなぐ』
～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ】

★はげめ 勉強！

★ひびけ 挨拶！

★みがけ 清掃！

それぞれの思いを胸に、それぞれの役割を、それぞれの子がしっかり果たそうとがんばりました。今号では、5年生と6年生の活躍をご紹介します。



ぴったりと息の合った歌声、完成度の高かった器楽、さすが高学年と言わしめた発表を披露した5年生。



仲間と力を合わせ作り上げてきた6年生59名による劇でした。最後の合唱で精一杯歌っている姿を座っている1年生の姿と重ね合わせると、改めて成長の大きさを感じました。



堂々とした立派な児童会長の挨拶で締めくくられました。



★ やさしい言動を 身につけさせたい ★

学習発表会が終わり、通常の教科学習主体の生活が戻ってきました。大きな行事の練習中には、いつも以上に交流範囲が広がるために、他者とのいさかいが起こりがちです。学年の担任団はそのようなことに対しアンテナを高くし、見守ってきました。しかし、目の届かないところでのトラブルは大小問わず、起きているのが現実です。時にはそれが“いじめ”につながっていかないと限りません。

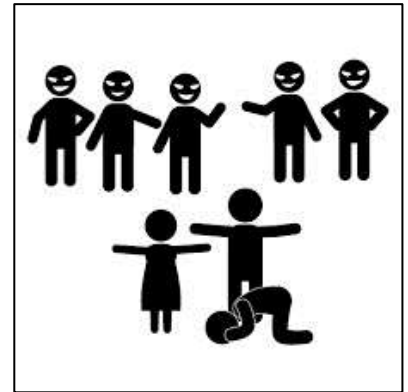
“いじめ”とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより 精神的な苦痛を感じているもの」

『いじめはダメ！』ということ、子ども達は頭の中では十分わかっています。でも、いじめの芽は子ども達の生活の中に潜んでいます。

具体的にはどんなことがいじめにつながっていくのか、学年に応じた説明が難しい面もあります。しかし、アンケート等で目にするものには、以下のようなものがあります。～あるアンケート資料より～

◆いじめの態様で最も多いもの → 『冷やかし・からかい・悪口・おどし文句・嫌なことを言う』

❖殴るとか蹴るとかの行為よりも、いわゆる“言葉”によるいじめ行為が多くの割合を示しています❖



私は『いじめは汚い言葉の応酬から始まることが多い。だからこそ、優しい言葉かけ（ぽかぽか言葉）・言葉遣いが大切なのです。それができる学級にいじめは起こらない。』と、考えています。だからこそ“**まずは言葉遣いから！**”を徹底したいのです。ご家庭でもご指導いただければと思います。

児童会でもいじめ防止に関わって、標語を募る活動をしているようです。1年生から6年生までの全ての児童が“**いじめは他人ごとではなく自分ごと**”と捉え、いじめ根絶に向かってくれることを願っています。

★ そろそろ冬バージョンに… ★

23日の降雪予報を聞き、慌ててタイヤ交換に行かれた保護者の方も多かったのではないのでしょうか。この時期に台風と降雪という組み合わせは、滅多にないことですよ。

さて、朝晩めっきり寒くなってきた今日この頃、登校する子ども達の服装を見ていると、季節の移り変わりを実感します。服装が変わってきたのと同時に、何となく姿勢も丸まってきています。背筋をまっすぐ伸ばし元気よく歩くことが、安全上も健康上も大切です。また、これからはいつ雪が降っても不思議ではない時期になりますので、歩道や車道が凍結し思わぬ事故も心配になってきます。お子さんの安全・健康等を確保するため、ご家庭でも下記の事項を参考にご指導ください。

《 健康面 》

- ①早寝・早起き・朝ご飯&家庭学習！
- ②徹底した手洗い・うがい、そして睡眠を！
- ③栄養状況の管理を！（朝食は必ずとる）
- ④天候に合った服装を！

《 生活面 》

- ①不要な金銭の持ち出し及びスーパーやコンビニなどへの不必要な出入りにご留意を！
- ②不審者対応、「いかのおすし」の再確認を！
- ③路面凍結の恐れあり。自転車はそろそろお終いにしてもよい時期だと思いますが、いかがでしょうか。
- ④帰宅時刻は4:00までです。（11月より）

◎ 前号でもお願いしましたが、ご留意いただきますよう重ねてお願いいたします。

保護者の理解がない状況で家庭からお金を持ち出し、友達におごったりおごられたりすることはトラブルの元です。ご家庭での金銭指導をお願いすると同時に、財布（お金）の保管場所等にご配慮くださるようお願いいたします。

○冬は自動車も滑ります。道路を横断する時は、車が止まったことを確認すること。決して急に走り出さないこと。

○車道と歩道の区別のない道路では、一列になって片側を歩く。